

語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2024 年 5 月)

研究発表会のお知らせ

2024 年度、第 1 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

日 時 : **2024 年 6 月 3 日(月) 午前 11 時 00 分～**

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。
Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。
ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : **クリスティアン・W・シュパング 先生 (外国語学部 英語学科)**

題 目 : **昭和初期の在日ドイツ人 :**

『ナチス党員記録日本』(米占領軍編纂) の分析

概 要 : 戦後、米軍は「Nazi Party Membership Records Japan」を編纂した。そのリストには党員 429 人の氏名、党員番号、生年月日と加入日、住所、仕事が記載されており、それに基づいて、在日ドイツ人のナチたちについて論じる。興味深いトピックは、在日ナチスの年齢構成だ。リストには何人の女性が載っているか。夫より先に入った妻はいたか。ドイツの外交官や軍人の代表は全員ナチ党員だったか。その時のドイツ人の留学生や日本の学校で教えたネーティブの教師はどうだったか。発表で様々な表やケーススタディを使用して説明する。

②発表者 : **吉田 慶子 先生 (外国語学部 中国語学科)**

題 目 : **『訳書彙編』における近代憲政概念の紹介
—「政法片片録」の調査を中心に**

概 要 : 1900 年 12 月 6 日に東京で発行された『訳書彙編』は、当時の中国人留学生による初期の法政資料として広く知られている。『訳書彙編』は 1901 年にかけて 12 刊、続く年にも 12 刊が発行されたが、1903 年 4 月に『政法学報』と改名され、8 刊が刊行された後に閉刊した。本調査は、『訳書彙編』に掲載されている「政法片片録」の憲政概念にめぐる紹介を通じて、当時の中国人留学生が自強意識をもとに近代立憲国家の形成を模索し、日本を通じて世界の情報を収集する様子を明らかにすることを目的とする。

以上

[問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail : daitogoken@gmail.com